

ユニット便り



第1回 ユニットケアとは…?

入居様がその人らしい当たり前の生活を送り、幸せに暮らすことを保障していくためには一人ひとりの個性と生活リズムを尊重した「個別ケア」が求められ、「ユニットケア」とは、他の入居者や介護スタッフと共同生活をしながら、家庭的な雰囲気を入居者一人ひとりの個性や生活リズムに応じて暮らしていけるようにサポートする介護手法のことを指します。

また、ユニットという小規模での家庭的な環境では、一步、部屋から出るとなじみの顔が待っている。ご近所仲間に会いたい時に会うことができるといったように「なじみの関係」が作りやすく、人と人との関係を深めやすくします。

ユニットケアでは暮らしの中で何を大事にするかということ。
すなわち空間を共有するだけでなく、時間をも共有することが重要と考えます。

(石井)

次回より、実際にどのような取り組みを行っているか掲載していきます。



みはらし

第1号

平成25年
10月発行

新理事長挨拶



理事長 木村 篤人

特別養護老人ホーム
むさし村山苑にご入居の
皆様、ご家族の皆様にご挨拶を申し上げます。

木村恒人前理事長の逝去に伴い、このたび社会福祉法人恭篤会理事長に就任致しました木村篤人です。よろしくお願ひ致します。

私は、医療法人財団立川中央病院グループ（老健施設 アルカディア、人間ドック 検診等予防医学を専門とする健康クリニック、設備法人ケアメディカル、在宅診療 諏訪の森クリニック）の理事長として、地域医療の充実、予防医療の啓蒙に尽力してまいりましたが、更に社会福祉の必要性を痛感し、前理事長とともに、社会福祉法人むさし村山苑を開設した次第です。理事長就任にあたり職員に対し「入居者の皆様に対して、常に同じレベルの目線で笑顔で接し、辛い所が手が届く世話をさせていただき、ご家族の皆様にも、地域の皆様にも信頼され、喜ばれる施設とすること」と要望致しました。

職員はまだ5ヶ月の、経験未熟ではありますが、明るく、はつらつとした姿勢で勤務しているものと確信しております。今正に長い航路を、希望を持って出港した客船なのです。皆様の温かい叱咤激励を賜り、名実ともに信頼され、親しまれるむさし村山苑となるように鋭意努力する所存ですので、今後とも宜しくご指導、ご愛顧を賜りますようお願いし、私の挨拶と致します。

編集後記

東京オリンピックが7年後の2020年開催決定しました。

世界的なイベントが眼前で観れるのは、心躍るとともに何か明るい未来が約束されているような、希望に満ち溢れた楽しいイメージでいっぱいです。

今更ながら調べてみますと、オリンピックマークであるあの五つの輪には大陸同士が繋がり、平和を願う想いが込められているそうです。



そこで、願掛けというわけではないのですが、内面の粹色をオリンピックカラーでまとめてみました。

ちなみに表面の粹色、「ライトグリーン」と「パールピンク」は、むさし村山苑のイメージカラーになります。

理事長挨拶にもありましたが、職員もこの広報誌も経験未熟であります。明るく、はつらつとした姿勢、そして「お・も・て・な・し」の心を持って自己研鑽に励み努力していきたいと思ひます。



…あと7年後一。

自分の環境も含めどう変化しているかはわかりませんが、この広報誌が「苑」と「家族」と「地域」との繋がりでとても役立つものになっていければ幸いです。（鈴木）

通信欄



そろそろインフルエンザ・ノロウィルスが流行しはじめる感染時期となります。

施設内感染予防対策として、面会時には1Fにて手洗い、うがいをお願い致します。咳などの風邪症状がある際は面会を控えて頂ければ幸いです。また、ご家庭で不要になったぼろきれをご提供頂けると助かります。（医務部）

ボランティア参加者募集をしています。

「歌」や「踊り」以外にも、話相手や庭の手入れなどの身近なことや、手が空いている短い時間でも構いません。お気軽に事務にお声掛けください。（事務部）

発行：社会福祉法人 恭篤会
むさし村山苑広報委員会
鈴木 安・小島 久夫

〒208-0011

武蔵村山市学園2丁目37-5

TEL 042-590-0070

FAX 042-561-5881



施設長挨拶



施設長 森山 律子

むさし村山苑の
「広報誌創刊にあたり」
施設長として一言
ご挨拶申し上げます。

むさし村山苑は、

「あなたのために

「こころ。えがお。つながり。」

を基本理念とし、基本方針を以下のように
させて頂いております。

- ①あなたのこころを尊重します。
- ②あなたの笑顔につながるケアを提供します。
- ③ご家族・地域とのつながりを大切にします。

上記の理念・方針に基づき、ご入居者・ご家族・地域の皆様に愛され、信頼して頂ける暖かな施設作りを目標にし、最後に「むさし村山苑でよかった。」と言って頂けるように、職員一同、心を合わせて一丸となって、努力していく所存でございますので、より一層のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

行事・イベント報告

敬老会

明日には台風18号が迫ってきているという不安定な天気の中、9月14日（土）見事な秋晴れのもと、1Fつどいの間にて敬老会が開催されました。テラスを開放した会場は、吹き抜ける風がとても心地よく、めでたい晴れの日に一層の彩りを添えていました。

木村篤人理事長の挨拶を始め、来賓方々の御祝辞を頂戴し、施設からの記念品贈呈では目に涙を溜められる一幕も…。ボランティアによるアンサンブル演奏では、迫力のある演奏に真剣に聴き入られている方が多く、知っている歌が流れると皆一様に口ずさんでいたのが印象的でした。

当苑初めての敬老会開催ということもあり、前日から当日にかけて準備に追われてバタバタとしてしまったところもありますが、多数の入居者様とご家族様のご協力により、ほぼ滞りなく式を進行できたと思います。ご協力ありがとうございました。



藤野 勝 武蔵村山市長



記念品の贈呈



アンサンブル演奏会



狙いをつけて…!

ミニ納涼祭

8月25日に4Fでミニ納涼祭を開催しました。

4つのユニットにかき氷、焼きそば、ヨーヨー釣り、わたあめ、チョコレートフォンデュ、冷汁、射的、お好み焼きなどの屋台を出店し、各階の入居者様やご家族様、大勢の皆様楽しんで頂くことができ、大盛況にて無事に終わることができました。

準備は大変でしたが、入居者様と一緒に職員も楽しめました。来年は苑全体で開催できるように頑張りたいと思います。（片川）



童心に戻ります



大好評につき奮闘中!

花火鑑賞会

夏のイベントのひとつ、花火鑑賞会を5Fみはらしの苑で開催しました。



苑にとっては初めての鑑賞会で、果たしてここから西武園の花火が見えるのか…?という職員の疑心暗鬼をよそに、やや遠めでしたが、なんとか花火を鑑賞することができました。特に24日の武蔵村山市花火大会では、双方の花火を同時に楽しむことができ、「綺麗だね～」と感嘆の声が上がっていました。



たくさんの入居者、ご家族にお越しいただき、職員ともども一時間程度の夏のひと時を楽しく過ごすことができました。（小島）



福祉まつり

「第20回福祉まつり」（社会福祉協議会主催）に参加しました。

残暑というよりも猛暑という言葉が似合うほど厳しい条件下でしたが、出店した焼き餃子とフランクフルトはお昼前には一時売り切れになるという好評ぶりでした。

今後もむさし村山苑では地域との交流を一層深めていきたいと思っております。



ボランティア

笹をわけてもらい一緒に七夕の飾りつけをして頂いたり、手作業、似顔絵描き、うちわ作り、入居者様のご家族様による民謡の催し物などで楽しんで頂きました。

どれもとても好評で参加した入居者様は皆、普段とは違う反応や表情を見せて下さいました。

開設からはや4ヶ月となり、ボランティアに来てくださる皆様の活動が、むさし村山苑にとってもとても豊かな時間になっている事を実感しております。（平原）

